

かぜ 風の郷	さと	風早自治協だより	ホームページアドレス http://kazahaya.info
		第 3 5 号	
		令和3年10月20日発行	

災害時の避難について

東広島市では、平成30年7月豪雨の振り返りを踏まえ、避難情報の発令と同時に、避難情報の対象となった地域ごとに1か所の避難所（46施設）を開設することとしています。これは公設避難所と呼ばれ、風早地域では風早小学校体育館がこれに当たります。また、この公設避難所とは別に各地区の集会所を一時避難所として市長又は自治協会長の判断、場合によっては各自治会長及び集会所管理者の判断により開設することとしております。

避難に対する正しい認識のもと、早め早めの避難をよろしくお願いいたします。

1. 自宅(居る場所)が危険な区域か確認する



災害の時に避難が必要なのは、危険な場所にいる人です。

安全な場所にいる人は、その場にとどまるのが一番安全です。

避難が必要かどうかを判断するために、自分がいる場所には、どのような危険があるのか、ハザードマップやインターネットで検索できる情報を使って確認しましょう。

2. 避難について考える

避難とは、避難所に避難することだけではありません。例えば、浸水する深さが50センチメートルくらいの場所であれば、自宅の2階に上がるだけでも十分な避難になります。無理をして避難所へ避難するよりも、そちらの方が安全なこともあります。

住んでいる場所の状況や、自分の体調などから、どのように避難をするのかをあらかじめご自身やご家族と一緒に考えておきましょう。

「避難」の考え方としては、次のようなものが考えられます。

- ハザードマップ等で自宅が危険な区域にない人
 - 自宅の中の安全な場所（2階や山側から遠い方など）に移動する
- ハザードマップ等で自宅が危険な区域にある人
 - 安全な場所にある親戚・知人宅などに移動する
 - 市が開設する避難所に移動する

3. 避難やそのタイミングを判断するための情報を確認する

避難を判断するための情報として、市が発表する避難情報があります。

市が発表する避難情報は、レベル3～5の数字が付いており、数字が大きくなるほど危険度が高くなります。

避難情報は、気象情報をはじめとするさまざまな情報を総合的に判断して、早めに発表しています。また、避難情報の発表と合わせて、市が開設する避難所をお知らせしますので、必ず確認してください。

警戒レベル一覧表

レベル	住民が取るべき行動	市の避難情報	気象情報
5	・命の危険 直ちに安全確保	・緊急安全確保	・大雨特別警報
4	危険な場所から全員避難 ・速やかな避難行動をとる ・屋内でも安全な場所に移動	・避難指示	・土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等の要支援者は立ち退き避難 ・その他の人は自発的に避難	・高齢者等避難	・大雨警報 ・洪水警報
2	・避難に備え、自らの行動を確認する	(なし)	・大雨注意報 ・洪水注意報
1	・災害へ心構えを高める	(なし)	・警報級の可能性



令和3年度 風早地区敬老会

風早自治協議会では例年、多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、高齢者をお招きして、アトラクションやお食事でおもてなしの会を開催してきましたが、今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルスが猛威を振るう中、実行委員会で検討を重ねた結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、一堂に集まる敬老会を中止し、記念品をお届けすることにより、長寿を祝う形とさせていただきました。

昭和20年3月31日以前に生まれた方が対象で、626人の方にお届けしました。



お祝の記念品

干拓堤防松並木の整備作業

7月18日（日）に干拓堤防松並木の整備作業を行いました。

17名の方に参加していただき、草刈り、枯れ木の撤去、枝の剪定などを行いました。

